

# 街路樹

2学期

## 主体的な学びについて考える

## スクールカウンセラーの活用

「子どもたちに観点を明確にせず『考えなさい』と言ひ、それでも考えが進まない、『よく考えなさい』『真剣に考えなさい』と言う。」これでは、子どもたちが考えることは難しいでしょう。

要請訪問の授業で、各グループに「どうなったの?」「どうしてそうなったの?」「それはなぜ?」と問いかけた先生がいました。そして、これらの問いにより、生徒たちは主体的に活動していました。

そこで、主体的な学びをする上で次のことについてどんな工夫をしているか確認してみましょう。

- 興味や関心を高める 【                    】
- 見通しをもつ                   【                    】
- 自分と結び付ける           【                    】
- 粘り強く取り組む           【                    】
- 振り返って次につなげる 【                    】



※【    】内にどんな工夫をするか、書いてみましょう。あるいは、書かないまでも考えてみましょう。

子どもたちの主体的な学びのために、明日の授業でどんな工夫をしますか?

[参考] 教職員支援機構HP 『実現したい子供の姿』  
小学校学習指導要領解説総則編 (H29.6 P76)  
授業改善講座 (H29.8.1)           ↑ 中学校も同様

本年度からは、教育支援室体制のもと5名のスクールカウンセラー(以下 市SC)で相談業務を行っています。市SCの業務内容については、

- ①児童生徒、保護者、教職員へのカウンセリング  
②カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言及び指導

③情報の収集及び関係者への情報提供(保護者同意のもと) 加えて、学校の事故や生徒指導上緊急を要する児童生徒の心のケアや、県SC配置校からの相談にも対応しています。相談の形態は、来所相談や訪問相談(原則的に学校への訪問)があります。

このように、当センターでは相談者のニーズに合わせた相談体制づくりをめざしています。本年度も4ヶ月が経過し、市SCの相談件数は176件で、昨年より101件増となっています。その相談の中でも、不登校に関する相談が最も多く、次いで不適応行動、家庭教育と続きます。問題が重複しているケースも多く、また、本人の心のケアと同様、保護者の心のケアも必要との判断で、定期的に来所されている方もいます。

SCは心のケアの専門家です。効果を上げるためには、学校との連携が必要です。学校のイニシアチブのもと、適応できない要因の把握と改善策について、共通理解を図る場を設定していくことがより大切になってきます。様々な環境の変化により困難な状況を抱えている児童生徒に寄り添った支援のための、一つの方法として活用してください。

## 「授業改善講座」講義より

### 「各教科で取り組む主体的・対話的で深い学びとは」

講師 早稲田大学教職大学院教授 田中博之先生

8月1日に開催した「授業改善講座」において、田中博之先生から、これから行わねばならない授業改善について次のようなご示唆をいただきました。  
・「主体的・対話的で、深い学び」は、目的でなく手段である。目的は、どの資質能力をつけたいのかということである。このことを勘違いしてはいけない。



・深い学びをさせようと思ってもなかなか上手いこない。では、どうすればいいのか。それは、児童生徒の実態を考えた「いい塩梅」の手立てが必要なのである。

そして、子どもたちに深い学びをさせるために、『「深い学び」を生み出す15の技法』を紹介いただきました。(アクティブ・ラーニング「深い学び」実践の手引き 教育開発研究所 発行 P33参照)

今回はその中から2つ紹介いたします。

### 技法②「学んだ知識・技能を活用して思考や表現をする」

子どもたちを研究者に見立てて、既習の知識・技能を活用させる中で、新しい規則性や法則、原因や因果関係に気づかせ、知識を再発見・再構成させる方法。

### 技法⑩「視点・観点・論点を明確にして思考や表現をする」

子どもたちに思考・判断・表現をさせるときには、ただ漠然とではなく、視点・観点・論点を明確にして考えさせたり対話させたりすることで、思考や表現が焦点化されて改善しやすくなり、より深い学びを生む方法。

### <受講者の声>

○ある教師が、「私は、やりなさいといったのに、子どもがやってくれないのです。」と言う。それは、「先生が言っただけだから、子どもはやってくれないのです。」この言葉が胸に刺さりました。いい塩梅の手立てを実践します。  
○学習のモデルの提示やタブレットで動画を再生しての相互評価など、様々な授業映像を見せていただき、具体的にイメージすることができました。